

北欧高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2015-09

愛称：オーロラギフト (為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版)

第2期(決算日2016年3月7日) 第3期(決算日2016年6月7日)

作成対象期間(2015年12月8日～2016年6月7日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	単位型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2015年9月30日から2019年12月9日までです。	
運 用 方 針	円建ての外国投資信託であるSuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券への投資を通じて、北欧市場で発行される、もしくは流通している、または北欧において主要な事業活動に従事している企業が発行するハイ・イールド債等の社債を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。2018年10月1日以降に、支払済みの分配金累計額を加算した基準価額(1万口当たり)が一定水準(11,000円)以上となった場合には、一定期間内SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス受益証券の組入比率を引き下げ、国内の短期有価証券、短期金融商品等(野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券を含みます。)の安定資産による安定運用に切り替えることを基本とします。	
主 な 投 資 対 象	北欧高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2015-09	SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス受益証券および野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス 野村マネーインベストメント マザーファンド	北欧(ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、アイスランド)市場で発行される、もしくは流通している、または北欧において主要な事業活動に従事している企業が発行するハイ・イールド債等の社債を主要投資対象とします。 本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主 な 投 資 制 限	北欧高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2015-09	株式への直接投資は行いません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
	野村マネーインベストメント マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建て資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			受 益 者 利 回 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	元 残 存 本 率
		税 分 配 金	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率					
(設定日)	円	円	円	%	%	%	%	%	%
2015年9月30日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	100.0
1期(2015年12月7日)	10,086	0	86	0.9	4.6	0.2	—	98.3	99.9
2期(2016年3月7日)	9,168	50	△868	△8.6	△17.9	0.0	—	98.8	99.7
3期(2016年6月7日)	9,722	50	604	6.6	△2.6	0.2	—	98.7	98.6

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
* 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

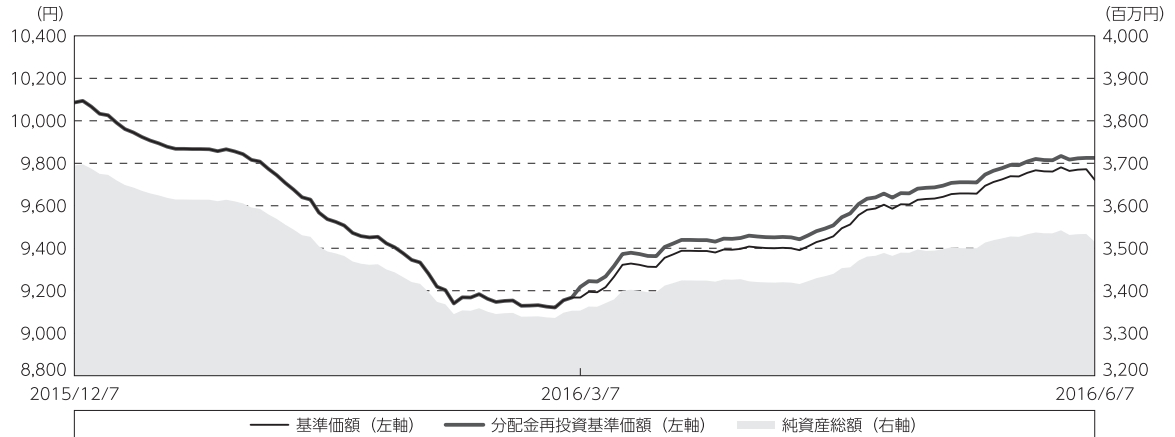
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率			
第 2 期	(期 首)	円	%	%	%	%
	2015年12月7日	10,086	—	0.2	—	98.3
	12月末	9,866	△2.2	0.2	—	89.2
	2016年1月末	9,451	△6.3	0.2	—	98.9
	2月末	9,132	△9.5	0.0	—	98.2
第 3 期	(期 末)					
	2016年3月7日	9,218	△8.6	0.0	—	98.8
	(期 首)					
	2016年3月7日	9,168	—	0.0	—	98.8
	3月末	9,394	2.5	0.1	—	98.8
第 3 期	4月末	9,586	4.6	0.2	—	98.9
	5月末	9,761	6.5	0.1	—	98.2
	(期 末)					
	2016年6月7日	9,772	6.6	0.2	—	98.7

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第 2 期首：10,086円

第 3 期末：9,722円（既払分配金（税込み）：100円）

騰 落 率：△ 2.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2015年12月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の10,086円から当作成期末には9,722円となりました。

- ・ 原油価格が下落したことなどを背景に、北欧社債の価格が下落したこと
- ・ 原油価格が反発したことなどを背景に、北欧社債の価格が上昇したこと
- ・ 北欧社債からの利息収入

○投資環境

北欧社債市場の大半を占めるノルウェーのハイ・イールド債券市場は、当作成期間では下落しました（トータルリターン・現地通貨ベース）。

ノルウェーなど北欧各国の中央銀行の金融政策動向や原油価格の動向に左右されました。

○当ファンドのポートフォリオ

【北欧高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）2015-09】

【SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス】受益証券および【野村マネーインベストメント マザーファンド】受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする【SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス】受益証券を高位に組み入れました。

【SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス】

主要投資対象である北欧^(※1)市場で発行される、もしくは流通している、または北欧において主要な事業活動に従事している企業が発行する社債（投資適格債券およびハイ・イールド債券）を高位に組み入れました。

(※1) 北欧とはノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、アイスランドの5か国を指します。

信用格付け別組入比率については、BBB格以上、BB格、B格、CCC格以下及び無格付けの組入比率は、2016年5月末時点で7.1%、40.5%、45.7%、5.4%としました。

組入資産について、原則として実質的に対円で為替ヘッジを行ないました。

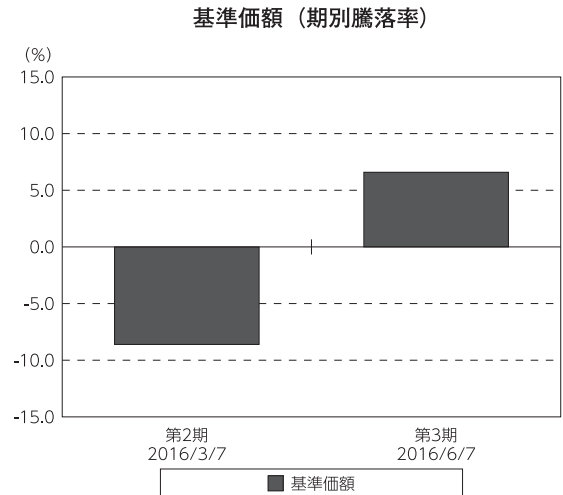
【野村マネーインベストメント マザーファンド】

債券現先取引やコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りながら、残存期間の短い公社債を組み入れて運用してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

第2期および第3期の収益分配については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案し、それぞれ1万口当たり50円といたしました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

◎今後の運用方針

【北欧高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）2015-09】

【SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス】受益証券および【野村マネーインベストメント マザーファンド】受益証券を主要投資対象とします。通常の状態においては、【SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス】受益証券の組み入れを高位に維持します。

【SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス】

北欧のマクロ経済の動向や各国中央銀行の金融政策に注目しながら、個別発行体の信用力を十分に調査・分析し、慎重に銘柄選択を行なっていく方針です。

組入資産について、原則として実質的に対円で為替ヘッジを行ないます。

【野村マネーインベストメント マザーファンド】

残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパーなどの短期有価証券への投資を行い、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化の動きについて

店頭デリバティブ取引に関して、将来、国際的に規制の強化等が予定されています。ファンドが投資対象とする外国投資信託が原則として活用する店頭デリバティブ取引（オプション、NDFおよびNDO等を含みます。）が当該規制強化等の対象取引となり、かつ、当該取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合、当該現金等を資産の一部として追加的に保有することとなります。その場合、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年12月8日～2016年6月7日)

項 目	第 2 期～第 3 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 49	% 0.513	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(14)	(0.146)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(33)	(0.351)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.514	
作成期間の平均基準価額は、9,531円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 * 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 * その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 * 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
 * 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年12月8日～2016年6月7日)

投資信託証券

銘 柄		第 2 期～第 3 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	Sulfi TRUST インベストメント・ファンダー ノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス	口 49,459	千円 439,800	口 42,293	千円 380,700

* 金額は受け渡し代金。
 * 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2015年12月8日～2016年6月7日）

利害関係人との取引状況

＜北欧高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）2015-09＞

該当事項はございません。

＜野村マネーインベストメント マザーファンド＞

区 分	第2期～第3期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 59	百万円 8	% 13.6	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 9.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

（2016年6月7日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第1期末	第3期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
SuMi TRUST インベストメント・ファンズー ノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス	口 393,507	口 400,673	千円 3,470,228	% 98.7
合 計	393,507	400,673	3,470,228	98.7

* 比率は、純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率。

* 評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第1期末	第3期末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネーインベストメント マザーファンド	千口 9,949	千口 9,949	千円 10,000

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年6月7日現在)

項 目	第3期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,470,228	% 97.8
野村マネーインベストメント マザーファンド	10,000	0.3
コール・ローン等、その他	67,652	1.9
投資信託財産総額	3,547,880	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第2期末	第3期末
	2016年3月7日現在	2016年6月7日現在
	円	円
(A) 資産	3,380,550,915	3,547,880,320
コール・ローン等	56,878,802	67,050,472
投資信託受益証券(評価額)	3,313,470,123	3,470,228,853
野村マネーインベストメント マザーファンド(評価額)	10,001,990	10,000,995
未収入金	200,000	600,000
(B) 負債	27,337,117	32,466,558
未払金	100,000	100,000
未払収益分配金	18,286,637	18,080,605
未払解約金	—	5,378,700
未払信託報酬	8,931,685	8,888,321
未払利息	—	183
その他未払費用	18,795	18,749
(C) 純資産総額(A－B)	3,353,213,798	3,515,413,762
元本	3,657,327,479	3,616,121,064
次期繰越損益金	△ 304,113,681	△ 100,707,302
(D) 受益権総口数	3,657,327,479口	3,616,121,064口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,168円	9,722円

(注) 設定年月日2015年9月30日、設定元本額は3,666,122,013円、第2期首元本額は3,663,122,013円、当作成期末における元本残存率は98.6%、1口当たり純資産額は、第2期0.9168円、第3期0.9722円です。

○損益の状況

項 目	第 2 期	第 3 期
	2015年12月 8 日～ 2016年 3 月 7 日	2016年 3 月 8 日～ 2016年 6 月 7 日
	円	円
(A) 配当等収益	69,481,639	72,042,780
受取配当金	69,467,520	72,049,020
受取利息	14,119	—
支払利息	—	△ 6,240
(B) 有価証券売買損益	△ 6,319,657	△ 4,132,311
売買損	△ 6,319,657	△ 4,132,311
(C) 有価証券評価差損益	△372,059,356	160,390,046
(D) 信託報酬等	△ 8,960,071	△ 8,940,012
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△317,857,445	219,360,503
(F) 前期繰越損益金	31,646,454	△304,113,681
(G) 解約差損益金	383,947	2,126,481
(H) 計 (E + F + G)	△285,827,044	△ 82,626,697
(I) 収益分配金	△ 18,286,637	△ 18,080,605
次期繰越損益金 (H + I)	△304,113,681	△100,707,302

* 損益の状況の中で (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

	第 2 期	第 3 期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年6月7日現在）

<野村マネーインベストメント マザーファンド>

下記は、野村マネーインベストメント マザーファンド全体(108,668千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第3期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	20,000	20,000	18.3	—	—	—	18.3
	(20,000)	(20,000)	(18.3)	(—)	(—)	(—)	(18.3)
地方債証券	7,800	7,821	7.2	—	—	—	7.2
	(7,800)	(7,821)	(7.2)	(—)	(—)	(—)	(7.2)
特殊債券 (除く金融債)	40,000	40,176	36.8	—	—	—	36.8
	(40,000)	(40,176)	(36.8)	(—)	(—)	(—)	(36.8)
合 計	67,800	67,998	62.3	—	—	—	62.3
	(67,800)	(67,998)	(62.3)	(—)	(—)	(—)	(62.3)

*（ ）内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第3期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫短期証券 第596回※	—	20,000	20,000	—
小 計		20,000	20,000	
地方債証券				
神奈川県 公募（5年）第50回	0.35	1,800	1,802	2016/12/20
大分県 公募平成18年度第1回	1.8	1,000	1,006	2016/10/31
共同発行市場地方債 公募第44回	1.8	1,000	1,007	2016/11/25
熊本県 公募平成23年度第1回	0.48	1,000	1,000	2016/ 7 /29
北九州市 公募（5年）平成23年度第1回	0.36	3,000	3,003	2016/ 9 /28
小 計		7,800	7,821	
特殊債券(除く金融債)				
公営企業債券 政府保証第870回	1.7	10,000	10,092	2016/12/21
原子力損害賠償支援機構債券 政府保証第4回	0.075	10,000	10,000	2016/ 6 /10
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第16回	2.0	10,000	10,027	2016/ 7 /28
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第19回	1.8	10,000	10,056	2016/ 9 /29
小 計		40,000	40,176	
合 計		67,800	67,998	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

*※印は現先で保有している債券です。

野村マネーインベストメント マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日2016年2月18日）

作成対象期間（2015年2月19日～2016年2月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
2 期(2012年 2 月20日)	10, 021		0. 1	86. 8	—	34
3 期(2013年 2 月18日)	10, 030		0. 1	67. 1	—	14
4 期(2014年 2 月18日)	10, 039		0. 1	54. 6	—	95
5 期(2015年 2 月18日)	10, 047		0. 1	80. 6	—	73
6 期(2016年 2 月18日)	10, 053		0. 1	9. 2	—	109

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

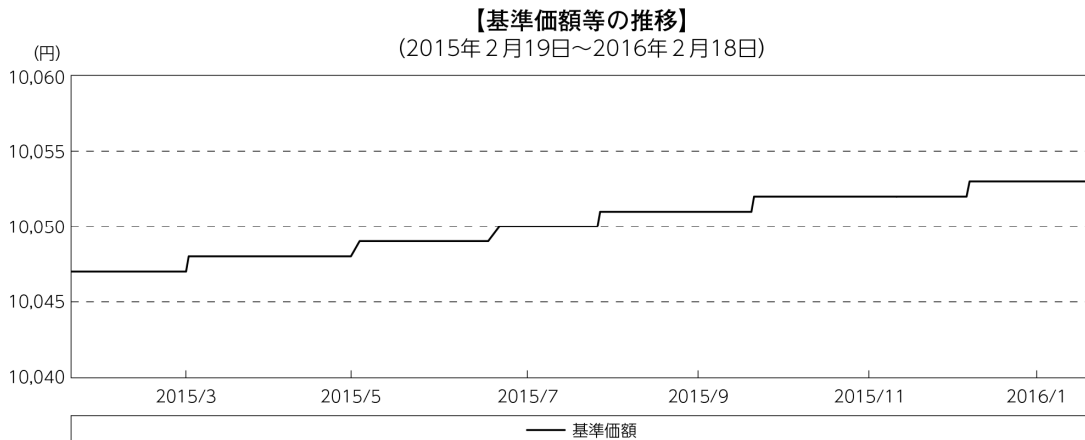
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2015年 2 月18日	円		%	%	%
	10, 047		—	80. 6	—
2 月末	10, 047		0. 0	77. 9	—
3 月末	10, 047		0. 0	62. 9	—
4 月末	10, 048		0. 0	64. 4	—
5 月末	10, 048		0. 0	96. 5	—
6 月末	10, 049		0. 0	75. 1	—
7 月末	10, 050		0. 0	75. 0	—
8 月末	10, 051		0. 0	56. 1	—
9 月末	10, 051		0. 0	20. 2	—
10月末	10, 052		0. 0	60. 5	—
11月末	10, 052		0. 0	60. 5	—
12月末	10, 052		0. 0	60. 4	—
2016年 1 月末	10, 053		0. 1	54. 8	—
(期 末) 2016年 2 月18日	10, 053		0. 1	9. 2	—

* 騰落率は期首比です。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券等からのインカムゲイン（利息収入）。

* 基準価額は0.06%の上昇

基準価額は、期首10,047円から期末は10,053円となりました。

○投資環境

国内経済は企業収益、雇用環境の改善が見られるなど緩やかな回復を続けました。しかしながら期を通じて輸出の回復は鈍く、また2015年後半以降、個人消費が伸び悩むなど景気回復に一服感が出始めました。加えて、原油価格の一段の下落や中国をはじめとする新興国経済に対する先行きの不透明感に伴う景気への悪影響が意識されるようになりました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇の早期実現を目指し、日本銀行当座預金の一部にマイナス金利を付与する「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を2016年1月の金融政策決定会合で決定しました。

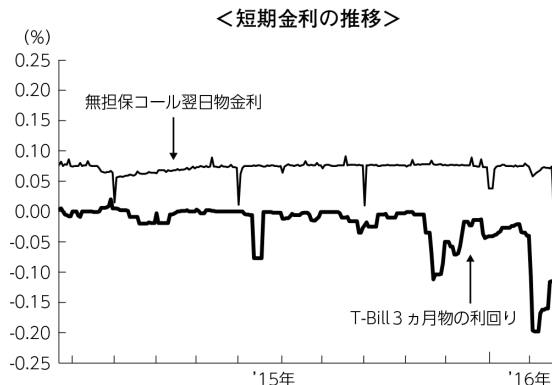
・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じて概ね0.06%台から0.07%台で推移しました。

日本銀行当座預金の一部へのマイナス金利の適用が開始した2016年2月16日以降はその水準を大きく下げ、市場ではマイナス金利での取引も成立しました。

・T-Bill (国庫短期証券) 3ヵ月物の利回りの推移

一時的な需給の緩みにより利回りがプラス圏で推移する局面がありましたが、国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入に伴う需給ひっ迫により、利回りは概ねマイナス圏で推移しました。2015年11月以降、海外勢からの国債需要の強まりを受けて利回りの低下が顕著になりました。その後、若干マイナス幅を小さくしましたが、日本銀行が追加金融緩和を決定した2016年1月末以降、一時-0.2%程度まで低下するなど利回りは急速に低下しました。



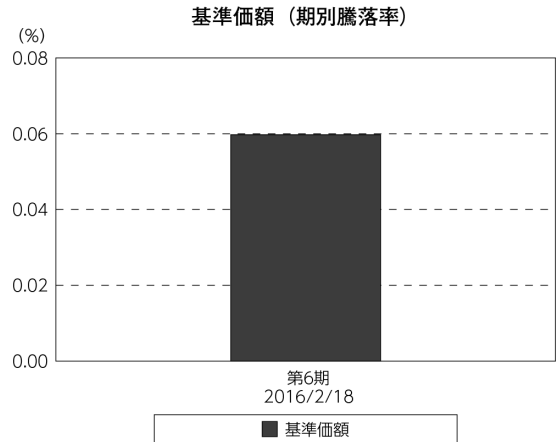
○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、残存期間の短い高格付けの公社債等によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後も、残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせて債券現先取引やコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図る運用を行う方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2015年2月19日～2016年2月18日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2015年2月19日～2016年2月18日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	5,141,482	5,001,491 (142,000)
	地方債証券	10,032	—
	特殊債券	70,252	— (127,000)

* 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年2月19日～2016年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年2月18日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
地方債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	10,000	10,011	9.2	－	－	－	9.2
	(10,000)	(10,011)	(9.2)	(－)	(－)	(－)	(9.2)
合 計	10,000	10,011	9.2	－	－	－	9.2
	(10,000)	(10,011)	(9.2)	(－)	(－)	(－)	(9.2)

* () 内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
地方債証券	%	千円	千円		
大阪府 公募(5年)第73回	0.51	10,000	10,011	2016/5/30	
合 計		10,000	10,011		

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 10,011	% 9.2
コール・ローン等、その他	99,234	90.8
投資信託財産総額	109,245	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	109,245,518
コール・ローン等	99,222,551
公社債(評価額)	10,011,847
未収利息	11,120
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	109,245,518
元本	108,668,314
次期繰越損益金	577,204
(D) 受益権総口数	108,668,314口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,053円

(注) 期首元本額73百万円、期中追加設定元本額40百万円、期中一部解約元本額5百万円、計算口数当たり純資産額10,053円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・北欧高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-09 9百万円
- ・北欧高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-01 9百万円
- ・野村ワールドリート通貨選択型ファンド(円コース) 0百万円
- ・野村ワールドリート通貨選択型ファンド(米ドルコース) 1百万円
- ・野村ワールドリート通貨選択型ファンド(豪ドルコース) 1百万円
- ・野村ワールドリート通貨選択型ファンド(ブラジル・リアルコース) 64百万円
- ・ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり 9百万円
- ・ノルディック社債ファンド 為替ヘッジなし 9百万円

○損益の状況 (2015年2月19日～2016年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	517,190
受取利息	517,190
(B) 有価証券売買損益	△459,082
売買益	20
売買損	△459,102
(C) 当期損益金(A+B)	58,108
(D) 前期繰越損益金	341,110
(E) 追加信託差損益金	204,512
(F) 解約差損益金	△ 26,526
(G) 計(C+D+E+F)	577,204
次期繰越損益金(G)	577,204

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2015年3月30日＞

＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2016年6月7日現在)

年 月	日
2016年 6 月	－
7 月	－
8 月	1、29
9 月	－
10月	31
11月	－
12月	26、27、28

※ 2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。